

公同礼拝

2022年6月12日(日) 午前10時30分

午後2時

司式 牧師 高橋和人

前 奏

招 詞 詩 編 51編12節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

詩 編 130編1～8節 (旧973)

マタイによる福音書 9章1～8節(新15)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 11 (1)

説 教 「罪を赦す権威」 牧師 高橋和人

祈 禱

讃 美 歌 195 (1)

献 金

頌 栄 542

祝 禱

黙 禱

6月の祈り

ペンテコステの恵みを覚えて、聖霊の励ましと慰めが与えられ、慰めの教会としての歩みを果たすことができるように。

コロナ禍によって困難を負っている人々と諸教会がこの時を乗り越えられるように。

戦火が早く止み人々の生活が回復されるように。
弱い立場の人々や子どもたちが守られるように。

今日の祈り

聖霊の交わりによって、キリストの体である教会の一人一人が結ばれ、離れていても礼拝と祈りに心を合わせ、一つの教会として形づくられるように。

愛する家族を主の御許に委ねた兄弟姉妹の上に慰めの主のみ手が与えられるように。

「罪を赦す権威」 高橋和人

マタイによる福音書 9：1～8

主イエスはガダラの地から自分の町に帰ってきた。主の復活の際に天使は「あなたがたより先にガリラヤに行かれる。」(28：7)と告げている。主は自分の町に帰られる。そこは復活の主に出会う場所だ。われらにとっては礼拝の場だ。

そこに、中風の人が運び込まれる。他の福音書では屋根をはがして釣り降ろされる。

主はその人たち、運び込んだ人たちの信仰を見た。本人ではない。信仰は独りで神の前に立つことが大事だ。その人だけで成立するものではない。執り成しを受け、祈ってもらえることが欠かせない。

そして、中風の人に「子よ、元気を出しなさい。あなたの罪は赦される。」と言われた。元の語順は「元気を出せ」が先。「元気を出す」は勇気からきている。ヨハネ16：33「しかし、勇気を出しなさい。

い。わたしは世に勝っている。」に用いられている。

中風の人に勇気を出すようにと言われる。中風は困難な病である。突然に体の自由が奪われ、生活も将来にも家族関係にも支障をもたらす。人は病の自分を責める。この勇気は勝利をもたらす。病の克服は、治癒だけではない。病に向き合い、それに支配されないための勇気がある。

主は「子よ」と呼ばれる。主イエスに結ばれている子という関係である。子は親によって勇気を得る。

主は「あなたの罪は赦される」という罪は複数でもろもろの罪。人の生涯の終わりの願いは「赦して欲しい」ということだと教えられたことがある。それほどに、人は償うことができないものを抱えて生きている。

赦すことができるのはその権威を持っていないなければならない。赦されることは受け入れられることだ。主の赦しは赦されないものを赦す。

律法学者は「神を冒瀆している」と思う。赦しには権威がなければならない。主イエスにそのような権威を示す姿はない。主は見抜かれて『あなたの罪は赦される』と言うのと、『起きて歩け』と言うのと、どちらが易しいか」と問う。

「言う」が強調されている。主の権威は言葉が実現することだ。

そして、起き上がって家に帰るように命じる。

主は家に帰るところまで命じる。われらは天に本国があり場所がある(エフェソ3：20、ヨハネ14：1～)。それは子として愛される場所だ。主の権威は恐れと讃美を生み出した。それは勇気もたらす力になる。